

2024年12月26日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社丸井グループと「人的資本経営評価型ローン」によるシンジケートローンを成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一）は、お客さまの人的資本経営の取り組みを評価する融資商品である「人的資本経営評価型ローン（以下 本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品の人的資本経営評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFJ）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下 JCR）をサポート企業としております。MURCが人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。

株式会社丸井グループ（代表取締役社長 あおい ひろし 青井 浩、以下 丸井グループ）は、本商品にて最高評価である「S」ランクを取得し、シンジケートローン契約を締結いたしました。

【本ローンの概要】

融資実行日	2024年12月24日
アレンジャー	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	300億円
資金使途	運転資金

【高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組み】

<経営戦略>

- ✓ 経営者のコミットメント：人的資本に関する方針を明確に公表し、経営理念の実現に必要な人材像を定義している
- ✓ 財務インパクト：人的資本投資の収益やコストを試算し、価値創出を確認している

<育成>

- ✓ スキル向上プログラムの実施：DX研修や「メタバース工学部」などの研修を実施している

<従業員エンゲージメント>

- ✓ エンゲージメント調査の実施と公表：エンゲージメント調査を定期的に行い、ESGデータブックにて結果を公表している
- ✓ エンゲージメント向上施策：調査結果に基づき、従業員エンゲージメントを向上させる施策を講じている

<コンプライアンス・倫理>

- ✓ 人権リスク評価：人権リスクとその対象者を整理し、重要課題を特定している

丸井グループは、「お客さまのお役に立つために進化し続ける」「人の成長＝企業の成長」という経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。2019年に策定した「丸井グループビジョン2050」では、サステナビリティと Well-being に関わる目標を「インパクト」として定義し、「将来世代の未来を共に創る」「一人ひとりの幸せを共に創る」「共創のエコシステムをつくる」の3つの目標を達成すべく、主要な取り組み項目を中期経営計画の主要 KPI として設定しています。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上